

平成 28 年度 新潟県合同輸血療法委員会 分科会打ち合わせ会（概要）

日時：平成 29 年 1 月 28 日（土）14:00～16:00

会場：新潟県赤十字血液センター第 1 会議室

各分科会単位での活動方針を打ち合わせた後、決定事項について全体で情報共有を行った。

○各分科会からの報告

〈安全対策班〉

- ・ 少子高齢化に伴い、将来的には、小規模施設の輸血医療に頼らざるを得なくなってくると考えられるため、輸血頻度の少ない施設の実情を把握するためのアンケート調査を実施し、医療安全からアプローチしていく。
- ・ 不規則抗体陽性の方が携帯するカードの作成及びその運用を検討する。

〈マニュアル班〉

- ・ 輸血学会からも輸血に関するマニュアルが出ているため、分科会として新たに作成してもダブルスタンダードとなる恐れがある。よって、マニュアル班では、小規模施設等でも活用できる最低限守らなければならない輸血ルールについて、チェックリストを作成する。
- ・ チェックリストは、輸血の同意書から始まり、次に血液型判定というように、輸血情報の実施に必要な項目を順番に記載し、ダブルチェックで確認するような形式を検討する。
- ・ 20 年の記録保管義務がある血液製剤の管理簿（伝票）について、雛形を作成する。

〈使用適正化班〉

- ・ 保険査定について検証する。各医療機関から平成 27 年度の査定事例の有無やデータを提供できるか打診するところからのスタートし、データをもとに問題点を検討する。

※上記活動方針については、平成 28 年度新潟県合同輸血療法委員会において各分科会から報告予定

○平成 29 年度厚生労働省事業への応募について

- ・来年度も応募する。
- ・事業内容としては、中小規模の医療機関の現状・実態を把握するため、今年度開催しなかった地域ミーティングを開催し、中小規模施設の医療関係者にも参加いただき、情報交換を行うとともに、基本的なルールの徹底を図る。
- ・新潟県では看護師の参加が少ないため、認定看護師を中心に参加を促す工夫を行い、県内全体の輸血療法の向上に向け取り組む。
- ・中小規模施設の研究については、既に東京都及び石川県が取り組んでいるため、新潟県独自の課題等に対する研究を行う等、特色を出すことが重要。